

東北地方 1か月予報

(5月22日から6月21日までの天候見通し)

平成16年5月21日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化しますが、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があり、東北太平洋側では曇りや雨の日が多い見込みです。東北日本海側では、平年と同様に晴れる日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ないでしょう。

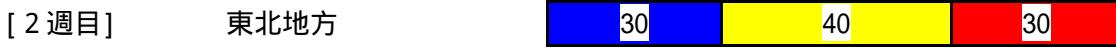
週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目は平年並、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 5月22日(土) ~ 6月21日(月)

1週目 : 5月22日(土) ~ 5月28日(金)

2週目 : 5月29日(土) ~ 6月4日(金)

3~4週目 : 6月5日(土) ~ 6月18日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は5月28日

3か月予報: 5月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	16.3	156.4	178.5	14.8	15.8	17.0
新庄	17.5	105.6	177.8	15.6	17.0	18.4
若松	18.7	83.6	187.5	16.8	18.2	19.6
深浦	15.9	105.2	198.5	14.2	15.4	16.7
青森	15.9	79.8	201.6	14.3	15.4	16.6
むつ	14.6	102.7	189.0	13.3	14.2	15.3
八戸	15.3	92.9	193.4	14.0	14.9	15.9
秋田	17.5	115.3	198.5	15.4	16.9	18.4
盛岡	17.0	104.8	177.5	15.1	16.4	17.9
宮古	15.2	102.7	168.3	14.0	14.8	15.8
酒田	18.1	107.5	200.9	16.1	17.6	19.0
山形	18.5	80.5	186.2	16.7	18.0	19.4
仙台	17.4	110.2	165.6	16.0	17.0	18.1
石巻	16.7	92.1	179.2	15.1	16.2	17.4
福島	19.1	88.4	167.1	17.7	18.7	19.8
白河	17.5	138.5	157.8	16.0	17.2	18.2
小名浜	17.4	127.8	172.3	16.0	16.9	18.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.3	84~110	93~108
東北日本海側	-0.4~+0.2	80~116	96~107
東北太平洋側	-0.5~+0.4	82~109	90~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.7~+0.6	-0.5~+0.4
東北日本海側	-0.7~+0.7	-0.6~+0.6	-0.6~+0.3
東北太平洋側	-0.6~+0.7	-0.7~+0.7	-0.6~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年5月21日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月22日~6月21日) :

天気は数日の周期で変化しますが、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があり、東北太平洋側では曇りや雨の日が多い見込みです。東北日本海側では、平年と同様に晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(5月22日~5月28日) :

期間の初め(24日)頃気圧の谷の影響で曇りや雨となります。その後の日は高気圧に覆われ概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(5月29日~6月4日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(6月5日~6月18日) :

天気は数日の周期で変化しますが、前線やオホーツク海高気圧の影響を受けて曇りや雨の時期があるでしょう。

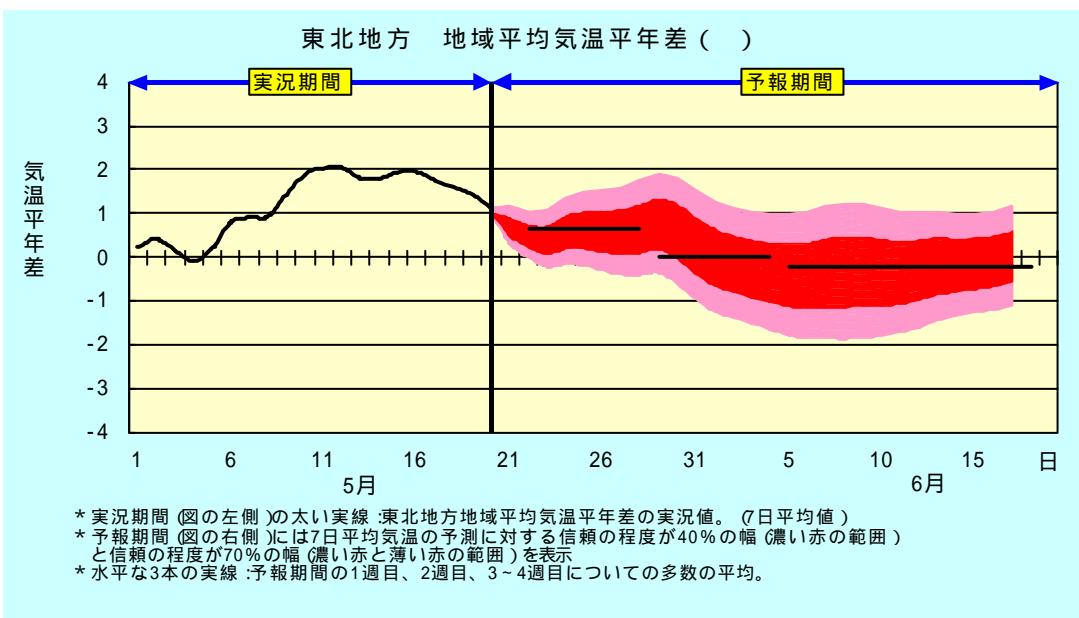
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.6日	4.2日	4.2日	7.2日
東北太平洋側	14.3日	4.2日	3.7日	6.4日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目とも「平年並」と予想している。週間予報資料から1週目を「平年並か高い」に変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。

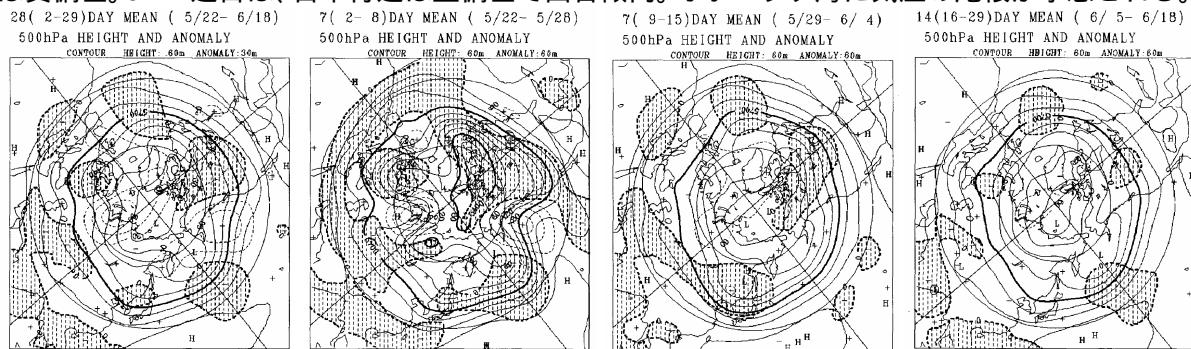


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、オホーツク海に気圧の尾根、朝鮮半島付近に気圧の谷があり、極東域では偏西風が分流しており、日本付近は西谷傾向。

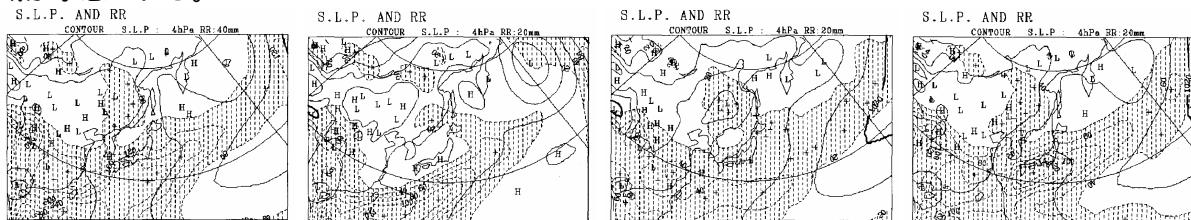
週別に見ると、1週目は日付変更線付近から負偏差域が東日本以北や日本海に伸びる。中国大陸は正偏差。オホーツク海には高圧部が予想される。2週目は、日本付近は気圧の谷で、北日本は負偏差。3~4週目は、日本付近は正偏差で西谷傾向。オホーツク海に気圧の尾根が予想される。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧が日本の南まで勢力を伸ばす一方、オホーツク海には高気圧が予想される。本州の南岸には等圧線のくびれが見られ、低気圧や前線の影響を示唆している。降水域の中心は南西諸島から本州南海上までの北緯30°付近。

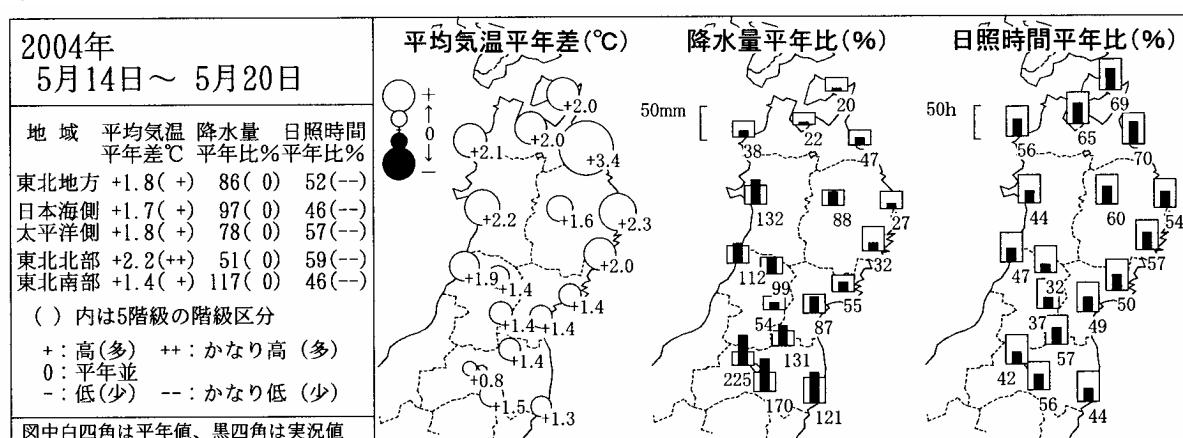
週別に見ると、1週目は日本の南海上は前線帯となり、オホーツク海にも高気圧が予想され、まとまった降水域が本州の南岸から南西諸島以西に予想されるが東北地方は高気圧に覆われる。2週目は、等圧線のくびれは本州南岸で降水域が1週目より北上する。3~4週目は、2週目に比べて太平洋高気圧が強まり、本州南岸の等圧線のくびれが明瞭となる。本州以南にまとまった降水域が予想される。



4. 最近1週間（5月14日～5月20日）の天候の経過

期間のはじめと18日に高気圧に覆われ晴れた他は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。20日は台風第2号が日本の南海上を北上し、前線の活動が活発化したため、雨となった。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は平年並。日照時間はかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）